教材・教具名	いろいろボックス
活用方法	・手本を見せながら、方法を視覚的に確認する。 ・注意を向けさせるために箱は一つずつ渡すようにする。 ・操作的な活動に意欲的で、色の対応がほぼ可能な子どもを対象とする。 （発語のない子どもでも可能）

製作上の留意点	・箱は磁石でつなげられるようにする。